

—— 芦北町議会だより ——

うたせ



議員メンバー勢揃い
<佐敷城跡にて>

- 新議員紹介 P2~3
- 3月定例会 P4~5
- 一般質問 P6~8
- 3月定例会審議結果 P9
- 総務厚生常任委員長報告 P10~11
- 建設経済文教常任委員長報告 P12~13

第84号

令和8年6月16日発行



発行／熊本県芦北町議会 編集／議会広報委員会
TEL (0966) 83-9640・FAX (0966) 82-2894
印刷／(有)芦北総合印刷



議会事務局



令和8年第2回臨時会が4月7日に行われ、議会の新体制が決まりました。

最初に議長選挙が行われ、宮内道則議員が当選、次の副議長選挙では、宮尾秀行議員が当選されました。

各委員会委員については議長が指名され、委員会の互選によって各委員会の委員長及び副委員長が決まりました。(委員会構成は3ページ下段参照)

その後、同意第3号において白坂達也議員が議会選出監査委員として同意されました。

初 議 会



議長 宮内 道則
みやうち みちのり

■当選 6回
■居住地 白岩

議長就任あいさつ

4月の初議会において、第七代芦北町議会議長に就任いたしました。誠に光栄であると共に、その責務の重大さを感じ身の引きしまる思いです。

議員各位のお力添えをいただきながら、全身全霊を傾けて芦北町、そして議会発展のために働いて参る決意でございます。

さて、今回の議員改選から議員定数が2人減の12人となり、新人議員8人が誕生し議会構成の3分の2を占めるフレッシュな体制となりました。

町民の皆様多くの声に耳を傾け、「住みやすい町」「住んで良かった」と実感する町づくりを議員一丸となり進めていく所存でございます。

今後とも、町民の皆様の変わらぬ議会へのご理解とご協力をお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。



副議長 宮尾 秀行
みやお ひでゆき

■当選 8回
■居住地 田浦町
■委員会

建設経済文教常任委員会 委員長
水保芦北広域行政事務組合議会議員



長口 隆
ちようち たかし

■当選 3回
■居住地 丸山
■委員会

建設経済文教常任委員会 委員長
議会運営委員会 委員
水保芦北広域行政事務組合議会議員



楠原 清照
くすはら きよてる

■当選 3回
■居住地 佐敷
■委員会

総務厚生常任委員会 委員長
議会広報委員会 委員
議会運営委員会 副委員長
水保芦北広域行政事務組合議会議員



前田 茂
まえだ しげる

■当選 1回
■居住地 田浦
■委員会

総務厚生常任委員会 委員



山田 良介
やまだ りようすけ

■当選 1回
■居住地 小田浦
■委員会

建設経済文教常任委員会 委員
議会運営委員会 委員



白坂 達也
しらすか たつや

■当選 1回
■居住地 花西
■委員会

総務厚生常任委員会 委員
議会広報委員会 委員長

※監査委員



一村 満治
いちむら みつはる

■当選 1回
■居住地 大野
■委員会
建設経済文教常任委員会 副委員長



徳永 純也
とくなが じゅんや

■当選 1回
■居住地 花西
■委員会
建設経済文教常任委員会 委員
議会広報委員会 副委員長
議会運営委員会 委員



横山 貴之
よこやま たかゆき

■当選 1回
■居住地 芦北
■委員会
総務厚生常任委員会 委員
議会広報委員会 委員
水保芦北広域行政事務組合議会議員



田中 良
たなか りょう

■当選 1回
■居住地 花西
■委員会
建設経済文教常任委員会 委員
議会広報委員会 委員
水保芦北広域行政事務組合議会議員



大山 弥生
おおやま やよい

■当選 1回
■居住地 湯浦
■委員会
総務厚生常任委員会 副委員長



委員会構成

	議会運営委員会	総務厚生常任委員会	建設経済文教常任委員会	議会広報委員会
委員長	宮尾 秀行	楠原 清照	長口 隆	白坂 達也
副委員長	楠原 清照	大山 弥生	一村 満治	徳永 純也
委員	長口 隆	前田 茂	宮尾 秀行	楠原 清照
委員	山田 良介	白坂 達也	山田 良介	田中 良
委員	徳永 純也	横山 貴之	田中 良	横山 貴之
委員			徳永 純也	

芦北町議会 3月定例会



3月定例会は、3月2日に召集され、3月13日までの12日間の会期で開催しました。元山前副議長のご逝去に伴い空席だった副議長の選挙を行い、寺本修一議員が就任されました。

本定例会に上程された議案は、令和7年度一般会計及び特別会計並びに水道事業、下水道事業会計補正予算計7件、芦北町一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正等議案等計5件、固定資産評価審査委員の選任同意計3件、人権擁護委員の推薦計3件、議会委員会条例の一部改正1件の合計19件あり、審議の結果、いずれも原案のとおり全会一致で可決しました。

また、最終日には、3人の議員が登壇し、町政全般にわたり一般質問を行いました。

(議案の内容と結果は9ページに、一般質問の内容は6～8ページに記載)



川尻 成美 議員
【熊本県町村議会議長会表彰】
議員在職30年以上



坂本 登 議員
【全国町村議会議長会表彰】
【熊本県町村議会議長会表彰】
議員在職15年以上

3月定例会の冒頭において、坂本登議員と川尻成美議員に表彰状の伝達が行われました。坂本議員は議員在職15年、川尻議員は議員在職30年と長きにわたる議会活動を通じ、地方自治の進展のために大きな役割を果たされていることが評価され、その功労に対する今回の表彰となりました。誠におめでとうございます。

令和8年度 当初予算を可決 196億3,288万円

(金額は1万円未満を四捨五入)

会計名		補正額	増減率
一	般 会 計	125億円	1.6%
特別会計	国民健康保険事業	27億100万円	△3.0%
	介護保険事業	24億4,500万円	△0.3%
	町有温泉事業	1億9,500万円	3.2%
	奨学資金貸付事業	2,100万円	△4.5%
	後期高齢者医療事業	4億2,500万円	7.3%
水道事業(公営企業会計)		3億6,088万円	3.4%
下水道事業(公営企業会計)		9億8,500万円	128.0%
合 計		196億3,288万円	3.7%

※当初予算の主な事業については、常任委員会委員長報告(P10~13)をご覧ください。

令和7年度 一般会計補正予算を可決 5億7,518万円を追加

(金額は1万円未満を四捨五入)

会計名		補正額	内 容
一般会計	(第6号補正)	2億7,726万円	生活応援券費、物価高対応子育て応援手当等
	(第7号補正)	1,551万円	衆議院議員選挙費
	(第8号補正)	2億8,241万円	※下記の主な事業参照
補正後の総額		133億8,009万円	

主な事業 《一般会計》 (第8号補正)

- 減債基金積立金……………1億1,758万円
- GX推進ファンド出資金……………1億円
- 子どものための教育・保育給付費……………4,800万円
- 田浦運動場照明設備改修工事……………4,750万円
- 中学校体育館照明LED化工事……………1,210万円
- 小学校体育館照明LED化工事……………944万円

質問1

投票率向上のための取り組みの推進を！

質問2

老朽危険空き家解体の補助率アップを！



楠原 清照 議員

(表1) これまでの選挙結果等の概要

町長選挙	R2.12	投票率 71.54%	うち期日前投票率 15.05%
	R7.01	投票率 56.34%	うち期日前投票率 15.50%
町議選挙	R2.12 (補欠)	投票率 71.54%	うち期日前投票率 15.05%
	R4.03 (一般)	投票率 71.17%	うち期日前投票率 15.73%

【町議選挙における供託物(金)の没収を回避する基準を満たさない候補者の条件】
有効得票数を議員定数で割った数の10分の1の数

$$\text{候補者得票数} < \frac{\text{有効得票数}}{\text{議員定数}} \times \frac{1}{10}$$

(表2) 令和4年3月27日執行(前回)町議選挙年代別結果

年代	10代	20代	30代	40代	50代
有権者数	220	791	1,153	1,482	1,844
投票者数	123	386	694	975	1,384
投票率	56%	49%	60%	66%	75%

年代	60代	70代	80代	90代以上	合計
有権者数	2,800	2,740	2,226	770	14,026
投票者数	2,351	2,332	1,514	224	9,983
投票率	84%	85%	68%	29%	71.17%

※各年代の投票率は、小数点以下の数値を省略

(表3) 移動期日前投票所の運用

1回目	令和6年3月24日執行 熊本県知事選挙	巡回先投票所7か所 投票者数102人
5回目	令和8年2月8日執行 衆議院議員総選挙	巡回投票所16か所 投票者数163人

質問1

投票率向上のための
取り組みの推進を！

楠原 議員
町議選挙が近づいてきているが、これまでの選挙結果のように考えているのか。

竹崎 町長
選挙事務に間違いは許されない。選管及び選挙従事者には完璧な選挙事務の遂行を求めている。選挙は民主主義の根幹である。今後も投票率向上に取り組む。

田務 課長
選挙制度の適正な執行に努める。その他、表1、2、3のとおり。

【まとめ】①若者の投票率向上の更なる取り組み強化を！②期日前投票推進と移動期日前投票所の充実を！③投票所長時間開設の改善を！

質問2

老朽危険空き家解体の補助率アップを！

楠原 議員
老朽化した空き家の解体に対する支援等についてどのように考えているのか。

竹崎 町長
国の制度を精一杯活用しながら取り組む。解体の補助内容を見直し補助率と限度額を上げる方向で検討する。

田務 課長
表4、5のとおり。

【まとめ】①老朽化した空き家対策は、大きな地域課題としての認識のもと行政の積極的介入を！

(表4) 解体支援の内容

事業内容	解体費用の1/2 上限50万円 (令和4年度町単独事業開始、 令和5年度から国交付金活用)
補助実績	31件 1,487万円 ※解体費用のうち基礎部分を除く解体費用の消費税抜き額

(表5) 令和7年度実施危険家屋調査結果

地区名	田浦	佐敷	吉尾	大野	湯浦	計
件数	19	40	16	6	28	109



坂本 登 議員

質問1

健康寿命の延伸へ「生涯現役」を目指して！

質問2

町営のトレーニング施設の必要性をどう考えているのか！

令和4年の結果 (単位：歳)

	男性	女性
健康寿命	72.57	75.45
平均寿命	81.05	87.09
差 (不健康な期間)	8.48	11.64

居福社健康課長
健康寿命は「健康上の問題で日常生活が制限されずに生活できる期間」、平均寿命は「0歳における平均余命」である。具体的な年齢は左表参照。

坂本 議員
健康寿命と平均寿命の違いはなにか。

質問1
健康寿命の延伸へ「生涯現役」を目指して！

健康寿命の延伸をテーマに、運動習慣や筋力トレーニングの重要性、町の健康づくり施策、トレーニング施設整備の考え方について質問した。
過去に体調を崩し、生活改善と筋力トレーニングによって健康を取り戻した経験を紹介。
「健康で自立して生活できる期間を少しでも延ばすことが大切」と訴え、健康寿命と平均寿命の違いや、町の取り組みについて町の考えをたずねた。

居福社健康課長
個人それぞれの身体状況などに合った運動の種類や強度などがあるため、可能なものから取り組めるような運動がよい。

坂本 議員
具体的にどのような運動を想定しているか。

居福社健康課長
厚生労働省の指針でも週2〜3日の実施が推奨されており、生活習慣病予防や生活機能維持に効果があるとの報告があることから、健康寿命の延伸に有効であると考えます。

坂本 議員
健康寿命の延伸に筋力トレーニングは有効と思うが、町はその効果をどのように考えているか。

居福社健康課長
健康寿命の延伸に向けては、有酸素運動や筋力トレーニング、バランスの良い食事、地域とのつながりが重要な観点から、町オリジナルの「あしきた健康体操」の制作や「あしきた健康フェア」をとおして、町民の健康づくりに対する意識の向上と実践を促し、町を挙げて健康づくりを推進している。

坂本 議員
健康寿命を延伸する取り組みについて、町はどのように考えているか。

竹崎 町長
高齢社会とは高齢者が頑張る社会であり、自分の年齢は自分で決めるという気構えが大切。
健康寿命を延ばすことは今後ますます重要であり、今後も町民の健康づくりにつながる取り組みを検討していく。

坂本 議員
高齢化が進む現状を踏まえて町長の思いを。

岩田 教育長
町内外に民間施設があることや、過去に設置した施設の利用が低調だった経緯から、新たな整備計画はない。
一方で、既存施設の利便性向上やスポーツに触れる機会づくりを通じて健康増進につなげたい。

坂本 議員
町営のトレーニング施設の必要性をどう考えているか。また作る気はないか。

質問2
町営のトレーニング施設の必要性をどう考えているか！

質問

人口減少時代における持続可能な学校運営体制の将来設計について！



百田 翔吾 議員



岩田 教育長

小規模校の課題として、学級内や学校内での交流の機会が減り、協働的な学びに影響を及ぼす可能性があること認識している。ICT機器を活用した質の高い教育の実施

百田 百議

児童生徒数の減少に伴い、学校の小規模化が進む中で、町として現在どのような課題を認識しているのか、また町としてどのような工夫や取り組みを行っていく考えか。

人口減少時代における学校将来のあり方と、子どもたちの教育環境をどう守っていくのか、そして地域の未来をどのようにつないでいくのか。これからの世代に関わる極めて重要な課題であると考えている。

島育長 宮教課

田浦小学校が11人、佐敷小学校が36人、大野小学校は0人、湯浦小学校10人、内野小学校3人の計60人である。

百田 百議

令和8年度4月からの町内の小学校の入学予定人数はどうなっているのか。

岩田 教育長

小規模校の利点を生かした教育を推進しているので、現時点では義務教育学校設置の計画はない。

百田 百議

他市町村においては小学校と中学校を一体化した義務教育学校（1年生から9年生までの9年間を一体的に教育する）など多様な教育モデルが採用されているが、本町としてそのような計画や検討はあるのか。

や国内外の学校とのオンライン交流により、子どもたちの視野を広げる取組を推進している。
また、空調設備の整備や施設の大規模改修などによる安全安心な学習環境の整備にも取り組むとともに、コミュニケーション・スクールや地域学校協働活動を通じて、地域住民の意見や力を積極的に学校運営に活用し、地域に根差した学校づくりを進めている。



令和8年第1回芦北町議会3月定例会 審議結果

区 分	議 案	内 容	審議結果
承認第1号	令和7年度芦北町一般会計補正予算(第6号)	生活応援券費、子育て応援手当等	承認
承認第2号	令和7年度芦北町一般会計補正予算(第7号)	衆議院議員選挙費	
報告第1号	和解及び損害賠償額の決定について	地方自治法(昭和22年法律第67号)第180条第1項の規定による指定に基づく専決処分	-
議案第1号	令和7年度芦北町一般会計補正予算(第8号)	概要等は、5ページ及び10～13ページに掲載	可決(全会一致)
議案第2号	令和7年度芦北町下水道事業会計補正予算(第3号)		
議案第3号	令和8年度芦北町一般会計予算		
議案第4号	令和8年度芦北町国民健康保険事業特別会計予算		
議案第5号	令和8年度芦北町介護保険事業特別会計予算		
議案第6号	令和8年度芦北町有温泉事業特別会計予算		
議案第7号	令和8年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計予算		
議案第8号	令和8年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計予算		
議案第9号	令和8年度芦北町水道事業会計予算		
議案第10号	令和8年度芦北町下水道事業会計予算		
議案第11号	芦北町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について		
議案第12号	芦北町サテライトオフィス田浦条例の制定について	芦北町サテライトオフィス田浦の適正かつ安定的な管理運営を図るため	
議案第13号	児童福祉法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	児童福祉法等の一部を改正する法律(令和7年法律第29号)等の施行に伴う条例の改正	
議案第14号	芦北町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	職員の町内居住を促進し、本町への定着を図るため	
議案第15号	芦北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	子ども・子育て支援納付金課税の制定と熊本県の保険料水準統一に向け、国民健康保険税の税率等を改正するため	
議案第16号	芦北町一般廃棄物処理条例の一部を改正する条例の制定について	指定ごみ袋の金額を改定するため	
議案第17号	芦北町農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について	農業集落排水処理施設の使用料を改定するため	
議案第18号	芦北町浄化槽市町村整備推進事業条例の一部を改正する条例の制定について	浄化槽の使用料を改定するため	
議案第19号	芦北町立公園条例の一部を改正する条例の制定について	芦北町立公園条例に鶴木山小浦復興公園を追加するため	
議案第20号	芦北町消防団条例の一部を改正する条例の制定について	消防団員の操法訓練に対する出勤報酬を支給するため条例を改正	
議案第21号	芦北町御立岬公園条例の一部を改正する条例の制定について	物価高騰に伴う料金改定	
議案第22号	芦北町移住体験住宅条例の一部を改正する条例の制定について	女島住宅の一部を移住体験住宅として活用するため条例を改正	
議案第23号	芦北町過疎地域持続的発展計画を定めることについて	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法(令和3年法律第19号)第8条第1項の規定による	

総務厚生常任委員長報告

副委員長 楠原 清照



総務課 17億2,144万2千円 (4億6,584万4千円減)

減額の主な要因は、防災行政無線整備工事等の事業完了によるもの。主な事業は、白石地区の宅地高上げ工事の完了見込みに伴う白石集会所建設工事や、災害対策においては、防災拠点センター整備に係る旧芦北消防署の解体工事など、建築前の準備工事に着手。

主な質疑

●白石集会所建設工事の事業概要等について

令和6年度に受領した国からの補償金を原資として同じ場所に再建し、完成後の集会所の管理は地元で行う予定。

●DX推進の取り組みについて

公共施設予約管理システム等に係る予算を計上。

企画財政課 17億7,000万円 (4,633万6千円増)

ふるさと応援寄附金は、より多く集まるよう努める。

交通対策として、オンデマンド交通の第2弾の実証運行を行い、令和9年度本格導入を目指しスムーズな移行に努める。

主な質疑

●瀬戸石ダム魚道観察施設の現状について

「川のとつとつと館」は、道路が使用できないため閉館している。

会計室 1,244万5千円 (153万2千円増)

会計事務の適正な執行の確保と効率化の推進に努める。

税務課 歳入予算21億5,715万2千円 (2,771万6千円増)

増額の主な要因は、全国的な賃上げによる給与所得の上昇等による個人町民税の増収、及び半導体関連事業所の設備投資による固定資産税の増収が見込まれることなど。

歳出予算1億4,234万6千円 (1,173万5千円増) 町税の適正な課税と徴収に努め、自主財源の確保と徴収率の向上に努める。

適切な執行管理により滞納額は減少し、令和6年度実績で県内4番目の徴収率。

主な質疑

●入湯税が増えている要因について

コロナ禍や水害からの復旧により利用者が増えたため。

住民生活課 26億8,420万4千円 (1億2,741万9千円増)

増額の主な要因は、介護保険係の一般会計予算が健康福祉課から移管したこと、及び高齢者施設の改築整備等補助金の予算計上によるもの。

高齢者施設の移転改築整備やICT導入に対して補助を行い、介護基盤の整備と効率的な業務運営の確保について支援を図る。

水俣病関連では、水俣病公式確認から70年を迎えるにあたり、情報発信支援事業、もやい直し事業等を通じて正しい情報発信に力を入れ、引き続き水俣病発生地域の活性化に取り組む。

主な質疑

●高齢者施設の改築整備等補助金について

目的は老朽化した施設の移転改築による減災効果。現在の建物の隣接地に建設する予定。補助金は補助単価×ベッド数により算出。令和9年度末の竣工予定。



健康福祉課 25億1,695万5千円(3億3,088万7千円減)

減額の主な要因は、介護保険事業に係る繰出金の費用が、組織再編により住民生活課所管となったことによるもの。
老朽化が進行している芦北・湯浦の両児童館を廃止し、跡地を「こども・子育て世代が真に求めている新たな公園」として整備するため、公園整備計画の策定に着手。
健康づくりでは、「生涯現役、健康寿命の延伸」に向け、ワンコイン健診をはじめとする各種事業を実施。

主な質疑

●児童館跡地公園整備について
令和8年度に基本計画策定、令和9年度以降、順次進めていく。

議会事務局
1億715万3千円(106万3千円減)

芦北町特別職報酬等審議会からの答申により、令和8年度から議員報酬が月額23,000円の増となるが、議員定数の減により議員報酬、議員手当等減額。議会のDX化推進を図るため、タブレット導入による議会のペーパーレス化に取り組む。



特別会計及び新規条例制定

内 容	回 答	主な質疑
令和8年度芦北町国民健康保険事業特別会計予算 27億100万円(8,400万円減)	減額の主な要因は、被保険者数の減少による療養給付費の減など。県内保険料率の統一に向けて税率の見直しを行う。18歳以下の子どもに係る均等割額を引き続き全額減免し、子育て世帯の支援に努める。	●国民健康保険税の被保険者数の状況について 令和8年2月末時点で3,297人、人口減少により被保険者数は減少している。
令和8年度芦北町介護保険事業特別会計予算 24億4,500万円(800万円減)	芦北町老人保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、介護・医療等の支援を必要とする高齢者が安心して暮らせるよう努める。	●本町が独自に取り組んでいる高齢者補聴器購入費助成事業補助について 補助の目的は、コミュニケーションを諦めることなく社会参加を続け、閉じこもり予防や認知症リスクの軽減につなげること。
令和8年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計予算 4億2,500万円(2,900万円増)	増額の主な要因は、保険料の増加に伴う後期高齢者医療広域連合納付金の増によるもの。	●後期高齢者医療被保険者数の人口に対する割合について 令和6年度末時点で、被保険者数4,106人、27.9%である。
芦北町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	本案は、国の「特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準」の公布に伴い条例を制定するもので、国が定める基準に基づき各市町村において条例で定めることとされていることから、新たに制定するものである。	●本条例の内容について 国において令和7年度に補助事業として制度化されたが、令和8年度からは、新たな給付制度として実施されることとなったもの。

建設経済文教常任委員長報告

委員長 草野 安道



教育課

6億8,416万9千円(前年度比8,365万8千円増)

主な要因は、ICT機器等の更新に伴う備品購入費等の増によるもの。

(学校教育)

ICT機器を活用した学力向上、教育の充実を図り、学びの保証に努める。

(学習環境)

施設のLED化などの整備、環境づくりに努める。

(学校給食)

学校給食費の完全無償化を引続き実施する。

主な質疑

●学校給食費無償化について保護者の反応は値上げする動きがある中で、非常に有難いという声を頂いている。

上下水道課

1億6,583万円(前年度比1,325万7千円減)

主な要因は、浄化槽設置整備事業補助金及び下水道事業会計への繰出金の減によるもの。

(生活排水対策)

合併浄化槽25基分の補助金を計上、また水供給対策として4組合への飲料水供給施設事業補助金等が計上された。

主な質疑

●飲料水供給施設事業補助金の補助率及び災害時の補助率について
通常時の補助率は税別事業費の3分の2、災害時の補助率は税別事業費の10分の8である。

農林水産課

7億923万9千円(前年度比1,262万5千円減)

主な要因は、災害復旧事業の進捗によるもの。

(農業農村整備)

広域的に被害を受けた吉尾地区等の基盤整備に取り組む。

(農業振興)

果樹振興では、資材費の価格高騰対策やハウス新設・機械導入の支援、オリーブの実証栽培や加工・販売を含めた6次産業化に引き続き取り組む。

(林業振興)

間伐、皆伐後の植栽や防護柵設置への支援が継続され、自伐型林業の取り組みを進める。

(有害鳥獣対策)

関係団体と連携し、防除、捕獲を中心とした総合的な対策に取り組まれる。

(漁業振興)

ヒラメ等の稚魚放流、芦北産マガキ等の養殖支援、資源保護の取り組みの他、新たにエビの陸上試験養殖が実施される。

主な質疑

●農作業支援事業補助金の上乗せ助成の内容は
ハウス作業の受託費が14,000円から17,000円に改定されるため増額分を全額助成する。



御立岬オリーブ園場

商工観光課

6億4,582万1千円（前年度比2,863万6千円減）

主な要因は、芦北海浜総合公園の施設長寿命化計画策定調査業務の終了によるもの。

（商工業振興）

商工会主体のイベント開催支援やプレミアム付商品券の発行支援により商工業の育成・強化と地域経済の活性化を図る。

（観光振興）

新たな観光商品の開発・発信力の強化を進め、他県での芦北フェア開催を通して、町の観光PRに引き続き取り組む。

主な質疑

●御立岬温泉センター基本構想及び設計業務委託について

各設備の老朽化に伴い施設の更新を、解体・新築、改修も含め検討を行う。

スポーツ・文化振興課

4億6,890万6千円（前年度比1,721万1千円増）

主な要因は、体育施設維持管理費の増によるもの。

（スポーツ・文化）

全国大会等への出場者に対する支援、演能会や文化祭等の開催。また引き続き佐敷東の城跡発掘調査に取り組む。

（総合コミュニケーションセンター）

世代・地域間の交流と学びの場として、施設全体の魅力向上に努める。

主な質疑

●佐敷東の城跡の国史跡指定への可能性は

文化庁指定リストの登録候補では県内最上位に位置しており、今後の調査成果次第である。



建設課

8億5,214万2千円（前年度比2億3,684万9千円減）

主な要因は、災害復旧工事等の進捗によるもの。

（交通基盤の整備）

町道の計画的な維持補修と橋梁の老化対策等の実施により、交通基盤の安全確保に努める。

（自然災害対策）

各排水機場の保守点検や計画的な補修を実施し、生活環境の整備に取り組む。

（公営住宅）

計画的な補修・更新を実施する。

主な質疑

●港湾維持管理事業予算の内容は

県が実施する松ヶ崎の船着き場交換等に対する負担金である。

特別会計・公営企業会計及び新規条例制定

令和8年度芦北町有温泉事業特別会計予算
1億9,500万円
（前年度比600万円増）

令和8年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計予算
2,100万円
（前年度比100万円減）

令和8年度芦北町水道事業会計予算
3億6,088万円
（前年度比1,188万円増）

令和8年度芦北町下水道事業会計予算
9億8,500万円
（前年度比5億3,300万円増）

芦北町サテライトオフィス田浦条例の制定について
芦北町サテライトオフィス田浦の適正かつ安定的な管理運営を図るため制定するものである。

温泉施設の利用促進のためどっぴろ広報PRを行っているのか。

令和8年度の継続貸付者数は21人、新規は32人を予定。

町内の水道管の総延長は、そのうち更新が必要なのは約112km、うち更新が必要な延長は28kmである。

令和7年4月から2月までの利用実績は407件で、年々増加している。

令和8年度の継続貸付者数は21人、新規は32人を予定。

広報委員会

新メンバーでがんばります

議会広報は、町民の皆さまと議会をつなぐ大切な役割だと感じています。

私たち広報委員会は、「議会で何が話し合われているのか」「町がどのように動いているのか」を、分かりやすく、親しみやすくお届けできるように努めてまいります。

今後とも、芦北町議会へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



〈委員長〉白坂 達也 〈副委員長〉徳永 純也
(中央) (右から2番目)
〈委員〉楠原 清照 / 田中 良 / 横山 貴之
(一番左) (左から2番目) (一番右)



ちょっといっぷく

佐敷中学校の体育大会へ出席をさせていただきました。私も同校の卒業生ですが、当時1学年4クラスで生徒数約150人程度でしたので、現在の全校生徒数は当時の約1/3位になります。

当日の5月16日(土)は、天気にも恵まれ過ぎて、体調管理が心配されましたが、競技種目間で柔軟に水分補給を促すなど、しっかりと配慮がなされていました。

体育大会は、先生方の支援もありましたが、生徒の実行委員会を中心に運営がなされておりました。競技種目の中の各学年全員リレーでは、白団、青団それぞれ2組に分かれて、男女混成の全員リレーとなっていました。そのため順位が目まぐるしく入れ替わって楽しく見させていただきました。

さて、芦北町議会議員の改選により、議会広報委員会のメンバーも新しくなりました。議会の活動や審議内容など、新しい視点で、正確・公正で分かりやすく、興味をもって読んでいただける広報誌となるよう委員一同、取り組んでまいります。



白坂 達也

議会の動き

2月20日 熊本県町村議会議長会第76回定期総会(自治会館)
24日 議会運営委員会、議会全員協議会

4月2日 議員懇談会
7日 第2回臨時会
(正副議長選挙、常任委員会委員の選任他)

3月2日 第1回定例会開会(議案審議)

22日 議会広報委員会

3日 総務厚生常任委員会・建設経済文教常任委員会
4日 総務厚生常任委員会・建設経済文教常任委員会

5月26日 町村議会議長・副議長研修(東京都)

12日 第1回定例会(一般質問)

27日 県関係国会議員への要望(東京都)

13日 第1回定例会閉会(議案審議)

16日 水俣芦北広域行政事務組合定例会

過去の議会議録

過去の議会の議録は
ホームページに掲載して
おります



※最新の議録は、都合上遅れる場合がございますので、予めご了承ください。